

プレミアム付商品券の発行

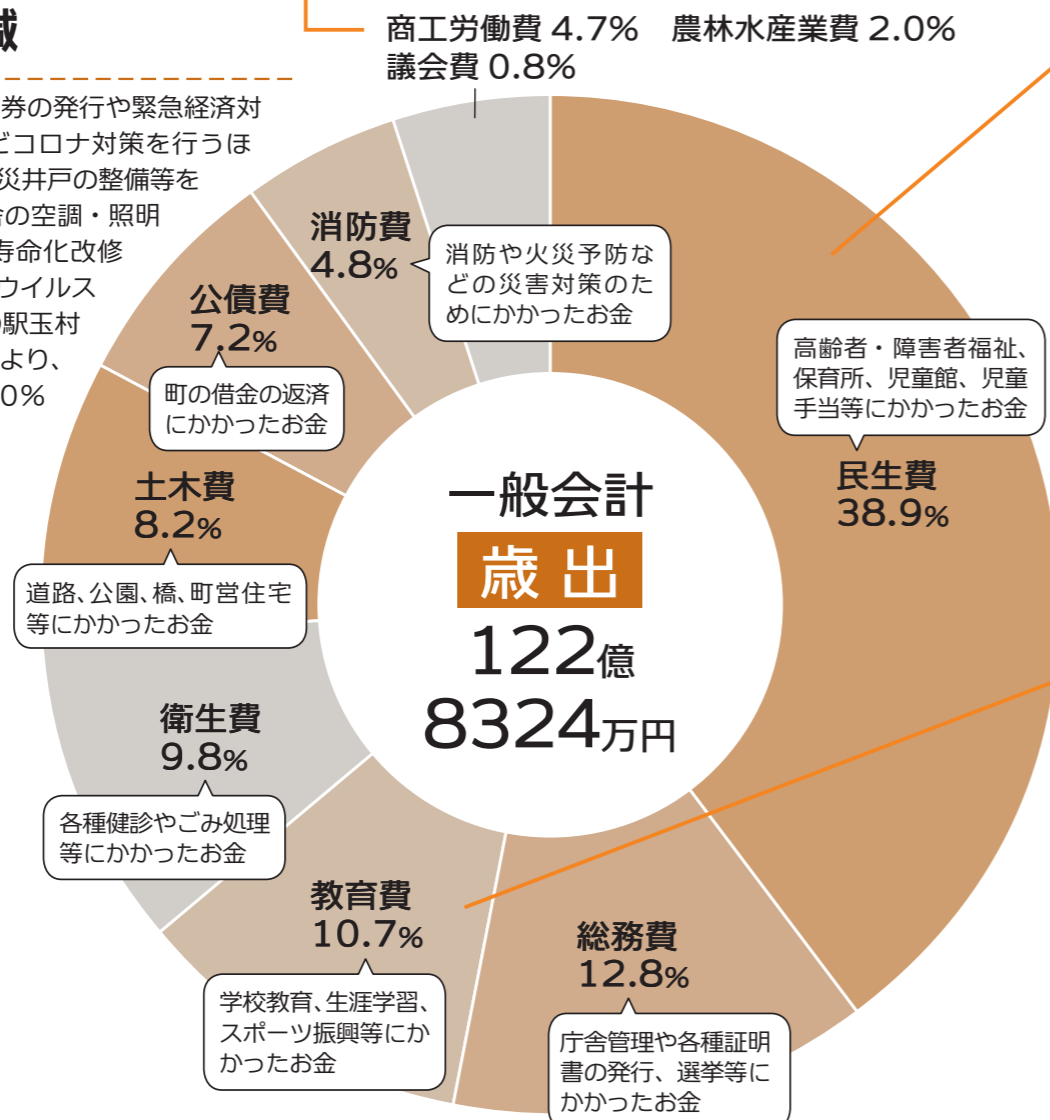
1億6655万円

町内事業所の売上げ回復及び物価高騰への生活者支援策として、町内で使用できるプレミアム率50%の商品券を発行。



歳出 7.0%減

歳出では、プレミアム付商品券の発行や緊急経済対策住宅等リフォーム支援などコロナ対策を行うほか、上陽分団の詰所建設、防災井戸の整備等を行いました。一方、役場庁舎の空調・照明の改修及び社会体育館の長寿命化改修が終了したほか、新型コロナウイルスワクチン体制確保事業や道の駅玉村宿駐車場拡張事業等の減等により、歳出総額は前年度に比べ7.0%減少しました。



令和4年度一般会計決算 町民1人あたり 約34万円使いました

(令和5年3月末人口:3万5820人) ※令和3年度は約37万円でした。

令和4年度一般会計決算の主な内訳

- ◎総務費 4万4038円 1万3999円 ダウン
- ◎民生費 13万3563円 7351円 ダウン
- ◎衛生費 3万3668円 2815円 ダウン
- ◎商工労働費 1万6027円 7878円 アップ
- ◎土木費 2万8225円 1768円 アップ
- ◎消防費 1万6335円 2013円 アップ
- ◎教育費 3万6836円 1万736円 ダウン
- ◎公債費 2万4555円 481円 ダウン

特別会計・企業会計の決算額

会計名	歳入	歳出	差額	歳出の前年度比
国民健康保険 特別会計	38億2862万円	36億8967万円	1億3895万円	6.4% 増
後期高齢者医療 特別会計	3億9145万円	3億8939万円	206万円	13.3% 増
介護保険 特別会計	29億2854万円	26億3171万円	2億9683万円	2.7% 増
介護予防サービス事業 特別会計	294万円	294万円	0万円	3.5% 減
水道事業 会計	収入7億3782万円	支出8億5930万円	▲1億2148万円	8.0% 増
下水道事業 会計	収入14億7136万円	支出17億1571万円	▲2億4435万円	2.0% 減

物価高騰に伴い非課税世帯等を支援

1億2099万円

電力・ガス・食料品等の価格高騰に伴い、家計への影響が大きい住民税非課税世帯や家計急変世帯に対して、1世帯当たり5万円を給付しました。



学校給食費の無償化

2943万円 (歳入免除)

原油価格及び物価高騰による保護者の負担を軽減するため、公立小中学校における学校給食費を、令和4年12月～令和5年3月までの4か月分無償化。

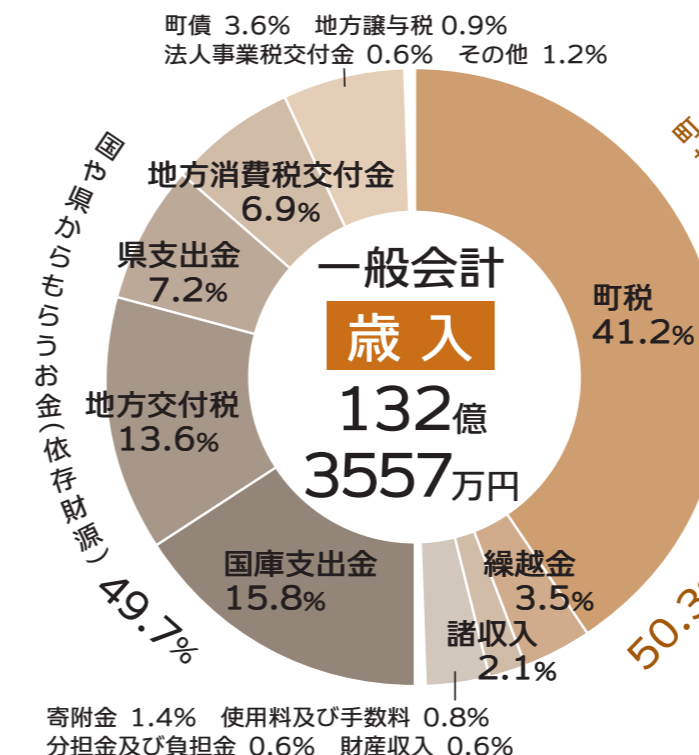


持続可能な行財政運営はできたのか

9月定例会の上程議案は補正予算、人事案件など21件。全て原案のとおり可決しました。そのうち、令和4年度の一般会計・特別会計などの7会計の決算は、決算特別委員会で集中的に審査の結果、全て認定しました。一般質問は10議員が行い、様々な角度から町政全般をたどりました。

歳入 6.2%減

町税では法人町民税や固定資産税をはじめ、全ての税目が増収となり、町税収入の総額は過去最高となりましたが、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業や新型コロナウイルスワクチン接種対策費補助金、町債の減等により、歳入総額は前年度に比べ6.2%減少しました。



委員長コメント

令和4年度は、コロナ対策や物価高騰への対応など町民生活を守る施策をはじめ、各種事業を確実に実施し、健全な財政運営であったと考えます。今回の決算審査で洗い出された課題等を次年度の予算に反映し、引き続き健全かつ持続可能な財政運営が行われることを望みます。

決算特別委員会委員長 備前島久仁子

